

問

人口減少、高齢化の中、今後の除雪対策は

町長

新しい除雪サービスの仕組みを協議

町の技能員のなり手不足は大丈夫か

問 本町の直営および委託で実施している除排雪業務の現状と課題は。

答 直営の除雪体制は、除雪専用車が2台、除雪ダンプが1台、大型ロータリーが1台、タイヤショベルが2台、グレーダーが1台、小型ロータリーが1台、合わせて8台を10人の技能員と建設課職員で

作業をしている。

委託路線の除雪は町内の2業者に頼んでいる。課題は、全国的に技能労働者の担い手不足があるが町の技能員は20代、30代の任用ができています。

委託業者はオペレーターの高齢化で今後の人員確保、除雪専用作業車両の老朽化が課題である。

除雪に関するアンケート調査の結果は

問 昨年実施した各町内会への除雪に関するアンケート調査結果は。

答 昨年8月、町内会各世帯を対象に、町道除雪作業で発生する置き雪に関するニーズ調査をした。配布数1345枚、回収数691枚、回収率51・4%となっている。その結果、町の福祉除雪サービスを利用して26世帯、新たにサービスを利用したい139世帯、そのうち福祉除雪サービスののみ利用が48世帯、業者サービスののみ利用が30世帯、どちらかのサービス利用が61世帯。利用希望金額は、一回

千円を選んだ世帯が一番多く131世帯。

町の除雪サービスの申し込み状況は

問 高齢者や障がい者の除雪サービスの申し込み状況と課題に向けた取り組みは。

答 除雪サービスの今年度申し込みは、高齢者が51人、障がい者2人。2月までに2回の出勤実績があった。置き雪の検討結果は、緊急避難路の除雪の他、置き雪も取り除くよう、高齢者勤労センターと調整し、実施している。申請継続も一度で済むよう工夫している。

今後の除雪対策は

問 今後、人口減少・高齢化が進む中、地域の協力体制や、民間活用も含めて除雪対策の考え方は。

答 置き雪対策は対応できる事業者を2年前から町広報紙に掲載しており、各町内会の協働事業に対して支援できるメニュー作りの検討

に着手している。今後さらに町および民間事業者と情報交換を密にしながら、新しい除雪サービスの仕組み作りを継続協議していきたい。



西山由美子 議員

春!かわいいヒヨコと
出会える幸せな季節なり

利用希望金額は、一回

